

わたしの 妊娠報告書

記載日 年 月 日

おめでた宣言日	R25年12月
年齢(42)歳 R3 平成()年(3)月 結婚	
私は (体外受精) で妊娠しました。	

不妊治療歴

(2)年 (5)ヶ月

他院での治療歴

なし (あり→内容(卵管鏡下卵管形成術(FT)、タイミング法))

ASKAでの治療歴

一般不妊治療

- 自然排卵 タイミング法 ()回
排卵誘発 タイミング法 ()回
自然排卵 +人工授精 ()回
排卵誘発 +人工授精 ()回

生殖補助医療

- DOST法 ()回
体外受精 (2)回
顕微授精 (1)回

妊娠の秘訣・心がけていた事

最初の採卵1回の移植がうまくいかなかつ時に、自行ナリに卵子についてや老化について、どうやつたら妊娠しやすくなるのか調べました。本を読みたり、中山先生にメールで質問したりしました。それから生活習慣を見直すことになりました。糖質(主におやつ)を減らす、ウォーキングをする、よい睡眠を心がける。特に職場で溶剤を吸っているので防毒マスクできちり対策するなど、サボリメントをほとんどと、アヒトがつたので、必要な物(特に葉酸)をとること等です。正直私は生活として必要なことをしていくことがつたことに気がつかず、ただ採卵して移植を受けていました。最初の採卵1回だけで移植して結果が"出ず"ようやく気がきました。もっと早く気がついていれば次の採卵に向けて準備できたのにとたんに後悔しました。そこで3ヶ月程体質改善を意識して次の採卵にのみ、妊娠に至る卵を得る二とかつてきました。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話

治療内容

1回目の採卵で「8個胚盤胞ができましたか」。移植してもどれも妊娠に至りませんでした。やはり年齢による卵子の老化が一番の要因といふことで、いやみどうすればいいのかさっぱり分かりませんでした。

今回の治療で一年近く費いやして、さらに卵子は老化していくだろうし、何よりこの一年私は何をしていたのかどうと後悔しました。どこかで「8回もあれば1つくらいうまくいくのではと楽観していたので、8回全滅で打ちのめされ、老化的現実をその他（通院・治療費・家族など）受け入れざるをえませんでした。

家族はややかめ的でしたか、初移植の日職場から病院へ直行の予定だったのに朝から日常通りで主人が「移植に一言も聞けなかつたのか」と悲しかったとかありました。2人の子どもの為なのに、一人ぼっち感があり、帰つてからめちゃくちゃ吐き方を言いました。治療費も保険1万3回以降は高額なので「大変ですか」、3回1万4千で「もうありますか」がたつと思ひます。京都府に引っ越ししてから京都府は補助金があることを知りました。活用できるものはしっかり調べるのかよいと思ひます。（4回目以降も）

治療中の方へのアドバイス

毎日、お金を使つて結果が出ないという状況は本当につらいです。さらに自分の無知が腹立たしかつたのです。なのでせめて後悔はもうしたくないと思ひます。もう一度やれるだけのことをしてみよう、あきらめるのはそれからにしようと思ひました。運よくいい卵を得られたのが、自分の努力の結果かは分かりません。でも少しくとも自分で納得できる生活をしました。家族の協力のおかけもありました。何でも話し合って自分の意志を持って後悔のないように治療に取り組んでほしいと思ひます。

スタッフへのご意見など

親切で親身に接してくださいるので安心して通院できました。

